

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

16

1 施策の概要

1-1 施策の名称	成人・老人保健			基本施策コード	2 1 1
1-2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	健康課	評価票作成者 健康課長 外山博保
1-3 総合計画における施策の体系	節	保健福祉「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」			
	項	健康			
1-4 施策の目的	健康な市民が増え、生涯を通して健康づくりに取組める環境と健康を目指す仲間とともに健康づくりの活動の輪を広げる。				

担当課評価	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
総合評価		

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	健康診断や保健指導など健康づくり施策に対する満足度	81.0(%)			82.0(%)			生活習慣病予防や健康づくり活動事業に対する市民満足度を表す指標

2 施策推進の状況

2-1 施策全体に係る合計コストの推移(千円)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
直接事業費	4,853	4,843	2,993	2,696						
人件費	3,236	3,092	1,277	1,171						
合計コスト	8,089	7,935	4,270	3,867						

3 施策の担当課による評価結果

3-1 評価結果	単年度担当課評価	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展
		<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない

3-2 評価の内容	年度	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
		平成18年度	近年寿命の延びる中で生活習慣病等が増加し、その予防対策が急がれている。地域における健康づくり運動推進に向け「とよあけ健康基本計画」「とよあけ健康アクションプラン」を策定し、市民と共に推進していく必要がある。	生活習慣病やストレスによる病気が増加しておりその予防対策に重点をおき、地域における健康づくりをすすめると共に高齢者の健康保持増進を図る。
平成19年度	平成20年度から生活習慣病を主眼においた保険者による特定健診・保健指導が導入される。それに対応した新たな事業展開が必要となる。	特定健診・保健指導を重点に取り組むのは当然であるが、地域を巻き込んだボランティア活動への支援や、地域における健康づくりへのきめ細かな支援に努める。	生活習慣病の予防のため、ウォーキング習慣の普及や定着に努めた。保健指導では、一律でない対象者への指導の困難さを改めて認識し、時間・場所等対象者に合わせ柔軟性を持った対応の検討が必要である。	
平成20年度	保健指導の参加意欲を増進させる事業展開が必要である。	地域を巻き込んだ健康づくりを進めるため、核となる健康推進員制度を創設する必要がある。	保健指導の休日、夜間実施を導入したが、参加者は、少ない。健康意識啓発を更に進める必要がある。	
平成21年度		〃	〃	ウォーキング参加者に保健師・栄養士によるワンポイントアドバイスでの情報提供を行い参加者の理解を深めることができた。
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 参考情報

4 - 1 施策を構成する事務事業の評価情報			平成19年度				平成20年度				平成21年度			
番号	事務事業名称	成果指標と最終目標値(単位)	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価
1	健診事後フォロー事業(内臓肥満予防教室)	教室参加者のうち改善を認めた人の比率 90(%)	76.5(%)	A	1	A	事業終了	-	-	-	-	-	-	-
2	栄養・食生活改善事業の推進	講座参加者 100(人)	44(人)	A	5	A	61(人)	A	4	A	47(人)	A	4	A
3	ウォーキングの推進事業(主要事業)	散歩・ウォーキングで体を動かす人の割合 39(%)	(%)	A	4	A	(%)	A	3	A	(%)	A	3	A
4	生活習慣病予防教室の開催事業(主要事業)	生活習慣病予防教室参加者数 1,135(人)	643(人)	A	2	B	768(人)	A	1	A	878(人)	A	1	A
5	ボランティアの養成(食生活改善推進委員・運動普及指導員等)事業(主要事業)	健康づくり推進ボランティア数 200(人)	106(人)	A	3	A	90(人)	A	2	A	76(人)	A	2	A
6	世代間交流・地域活動をいかした健康づくり事業の推進(健康づくりイベント)	ウォーキングマップの利用者数 2,000(人)	540(人)	A	9	A	3へ統合	-	-	-	-	-	-	-
7	市民への健康づくり情報等の提供事業	朝食を必ず食べる人の割合 90.0(%)	(%)	A	11	A	(%)	A	8	A	(%)	A	8	A
8	連携体制による健康づくり(ウォーキング推進グループへの支援)事業	ウォーキング推進グループのワークショップ開催数 36(回)	12(回)	A	7	A	12(回)	A	6	A	12(回)	A	6	A
9	高齢者向けのウォーキングの推進事業	1日平均ウォーキング時間が30分未満の人の割合(60~69歳) 31(%)	(%)	A	8	A	3へ統合	-	-	-	-	-	-	-
10	こころの健康づくり講演会開催事業(シンポジウム含む)	こころの健康づくり講演会(シンポジウム含む) 1(回)	111(人)	A	10	A	61(人)	A	7	B	39(人)	A	7	B
11	成人歯科健診の充実事業	歯周疾患にかかった人の割合(40歳対象) 20(%)	22.3(%)	C	12	D	事業終了	-	-	-	-	-	-	-
12	口腔内保健指導の充実事業(節目歯科健診)	8020推進運動の認知度 60(%)	(%)	A	6	A	62.6(%)	A	5	A	-	A	5	A